

(様式1)

事実婚関係に関する申立書 (補償金請求用)

1 婚姻の意思を有し、夫婦として共同生活を営んでいたことについての申立

下記①の者と下記②の者は、戸籍上の婚姻関係にはありませんが、当時婚姻の意思があり、③の期間において、夫婦としての共同生活を営んでいました。

①氏名 _____ 住所 _____

②氏名 _____ 住所 _____

③明治・大正・昭和・平成 ____年 ____月 ____日・頃
～ 明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在 ____年 ____月 ____日・頃

2 同居についての申立

上記①の者と上記②の者は、次の期間において、同居していました。

明治・大正・昭和・平成 ____年 ____月 ____日・頃
～ 明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在 ____年 ____月 ____日・頃

<同居が短期間であった理由 (同居が1年未満であった場合のみ) >

.....
.....
.....
.....
.....

3 別居についての申立

上記①の者と上記②の者は、夫婦としての共同生活を営んでいた期間のうち、次の期間においては、別居していましたが、その理由は次のとおりです。

明治・大正・昭和・平成 ____年 ____月 ____日・頃
～ 明治・大正・昭和・平成・令和・請求日現在 ____年 ____月 ____日・頃

<上記期間に別居していた理由>

.....
.....
.....
.....
.....

(次ページにお進みください)

4 第三者による証言

<証言 1>

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言 婚姻の意思に関する証言 別居の理由に関する証言
 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

<証言 2>

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言 婚姻の意思に関する証言 別居の理由に関する証言
 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

<証言 3>

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言 婚姻の意思に関する証言 別居の理由に関する証言
 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

<証言 4 >

(※該当する証言にチェック)

- 同居に関する証言
- 婚姻の意思に関する証言
- 別居の理由に関する証言
- 夫婦として共同生活を営んでいたことに関する証言

上記①の者と②の者の関係について、私が把握している事実は、次のとおりです。また、私は上記①及び②の者の民法上の三親等内の親族ではなく、次の証言に虚偽はありません。

.....
.....
.....
.....
.....

氏名 _____ 住所 _____

5 備考（補足説明したい事項がある場合のみ、記載してください。）

.....
.....
.....
.....
.....